
続・安心緊急避難サービスZ

莓大福

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

続・安心緊急避難サービスZ

【Nコード】

N2128K

【作者名】

蓐大福

【あらすじ】

できれば前作の安心緊急避難サービスZからお読みください。ストーリーはほぼ似ています。感想もよろしくお願い致します。

（前書き）

いらっしやいませ。ちょっと読んでいってくださいな

続・安心緊急避難サービスⅡ

その日ある独り暮らしの若い女の家には保険会社の社員を名乗る男が訪れた。

「ごめんください。〇〇保険会社の者です。」

女は眠たそうな眼をこすりながらドアを開けた。すると男はすかさずドアに足を挟み言った。

「保険とはまったく異なる画期的な商品があるんですが是非お話だけでも聞いてもらえませんか？5分でいいです。」

「

女はだるそうに言った。

「なんなのよ・・・せつかくの日曜日の朝からセールスですか？わたしまだ寝ていたいのに迷惑です。」

それでもその保険会社の男は引く事無く得意のトークで攻め続けた。

「けして損なお話ではありません。貴方のような綺麗な方は夜道に襲われそうになる事もあるでしょう？そういう時にこの商品は貴方を守ってくれます。それが安心緊急避難サービスⅡです。通常保険というのは災害事故病気または死亡といった事柄に対して後日金銭を支払う事で保障するのが一般的です。しかしこの装置はそういった危機的状况から貴方を事前を守る事が出来

ますこれからの時代は事前に不幸を回避する。そういう時代だとわたし思うのです。」

そう言つて男は鞆から野球ボール程の鉄球を女に見せた。
「このボールに付いているボタンを押すだけでいいんです。たちまち貴方の周りを取り囲む悪い男達を一掃する事が可能です。いかがですか？本日ならおまけして5万円でもいいです。」

女はその一掃という言葉にひつかかった。たしかに職場にいちいちセクハラする上司をなんとかしたい。そう思っていた。女は言う。

「それ買います。はい5万円。ただの防犯ブザーじゃないわよね？嘘だったら承知しないわよ！」

男は得意そうに言った。

「威力はすごいです。しかし安心緊急避難サービスZのZはローマ字の最後の文字ですよ？この商品も最終兵器だと思つて下さい。ちょっとやそつとの事で使わないでください。」

男はそう言つて5万円を受け取ると嬉しそうに去つて行った。

翌日女の職場にて・・・

女はパソコンに向かって淡々と入力業務を行っていた。するとバーコード頭をした上司が近づいてきた。

（来た！今日こそはいつものセクハラのおしおきよ！）

女は鞆から安心緊急避難サービスZを取り出した。
バーコード頭の上司は言った。

「おーおー。今日もおっぱい大きいねえ！なに食ってりや
そんなに大きくなるもんかねえええ！このホルスタイン
が！」

そう言いながら女の胸を触ろうとした時だった。

女はためらう事無く安心緊急避難サービスZのボタンを押した。

ずどおおおおおおおおおおおん

物凄い爆発音がしてオフィスのガラスはすべて割れて飛び散った。そしてバーコード頭の上司と女は爆風で宙に舞い天井を突き破り上のフロアから頭を突き出していた！

二人とも頭蓋骨陥没の重傷だった。

女は自分自身まで一掃してしまった。

保険会社の社員を名乗る男は言わずと知れた詐欺師である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2128k/>

続・安心緊急避難サービスZ

2011年1月26日06時11分発行